

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 251 『寒花晩節』 かんか ばんせつ

< 意味 > 晩節（年老いてからの節義）を全うすること。

< 出典 > 『宋名臣言行録』後集・韓琦

語 釈：「寒花」は冬に咲く花。冬の花は長い間その香りを保っていることから、人が節義を年終えるまで全うし続けることにたとえる。若いときは節義を保ちやすいが、晩年になってからはそれがむずかしいとされている。

一 言：「節義」を広辞林で調べると、固く節操を守って義を立てること。節操とは、一つは自分の主義・道徳を固く守って変えないこと、とあります。私は現在78才ですが、耳に痛いというか、座右におくべき熟語だと感じています。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」